



Fierce IV

SPINNING REEL

日本語版取扱説明書



日本語取扱説明書

Fierce IV

この度はペンFierce IVシリーズをお買い上げいただきありがとうございます。
ペンリールは1932年に設立して以来、常にリール業界をリードし、リールを生産してまいりました。

PENNの誇りは、多くの熟練した釣り人がペンのプロダクトを信頼してあらゆるソルトウォーターのフィッシングシーンにおいて、世界中で毎日のように使われ続けていることです。

Fierce IVシリーズの性能を十分に引き出し、あなたの釣りを楽しいものにするために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

またこの取扱説明書は大切に保管してくださいませよう、お願い申し上げます。

《主な仕様》

- フルメタルボディ、サイドプレート
- HT-100ボンファイバードラグワッシャー
- シールドボールベアリング
- インスタントアンチリバース
- スーパーラインスプール
- ラインキャパシティリング付スプール

仕様一覧表

製品名	自重(g)	ギア比	最大ドラグ力(kg)	最大ライン巻き取り長(cm/ハンドル1回転)	ボール/ローラーベアリング
Fierce IV 3000	335	6.2	7	89	4+1
Fierce IV 4000	354	6.2	7	94	4+1
Fierce IV 5000	556	5.6	11	91	4+1
Fierce IV 6000	607	5.6	11	104	4+1

ラインキャパシティ①ナイロン・フロロカーボン (m)

製品名	0.285mm (3号)	0.310mm (3.5号)	0.330mm (4号)	0.370mm (5号)	0.405mm (6号)	0.435mm (7号)	0.470mm (8号)	0.520mm (10号)	0.570mm (12号)
Fierce IV 3000	175	150	130						
Fierce IV 4000	230	200	175						
Fierce IV 5000			250	200	165	125			
Fierce IV 6000						230	200	160	135

ラインキャパシティ② PEライン(m)

製品名	1.5号	2号	2.5号	3号	4号	5号	6号	8号	10号
Fierce IV 3000	265	200	160						
Fierce IV 4000	375	280	225	185					
Fierce IV 5000			320	265	200	160			
Fierce IV 6000					310	250	200	150	

Fierce IV その他特長と使用方法

左右両用ハンドル

ハンドル位置を左右交換する場合は、ハンドルの反対側についているハンドルキャップを外してください。ハンドルを糸巻き方向とは逆に回し本体から外して本体の反対側に入れ替え、ハンドルを糸巻き方向に回して締めれば、簡単に左右のハンドル入れ替えが出来ます。

インスタントアンチリバース機構

インスタントアンチリバース機構によりハンドルの逆回転方向のアソビ(ガタ)をなくし、アタリをとりやすく、確実なアワセを可能としました。ルアーを竿先まで、巻き込んだ場合は、ストッパーレバーをOFFにし、ローターを逆回転させ、糸を出してください。

ラインクリップ

スピールのスカート部分にあるラインクリップは、リールを使わないとき、ラインの端を保持しておくために使用します。

スーパーラインスプール

エラストマーをスプール底部に配置することにより、下巻不要で、PEラインやSuperFireLineを巻き付け可能です。

ラインキャパシティリング

魚とのやり取りにおいて、どのくらいの残量がスプールに残っているか気になることが多い状況で状況で、このラインキャパシティリング糸巻残量が把握できます。また、下巻の目安としてもご利用できます。



ラインキャパシティリング スーパーラインスプール

注意

- キャスト(投げる)の時は、ベールを起こすことを忘れないでください。仕掛が切れたり、思わぬ方向にとんで、周囲の人にけがをさせるおそれがあります。
- キャスト(投げる)の時は、ストッパーをONにして投げて下さい。OFFにして投げると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをさせるおそれがあります。
- ストッパーをOFFにして釣っていると、ハンドル等が逆転し、手に当たりけがをさせるおそれがあります。
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。
- 糸が勢いよく出ているとき糸をつままないでください。糸で指を切ることがあります。
- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、衣類を汚さないように注意してください。
- リールを構成します各部のパーツは食用ではありません。リールは幼児の手の届かないところへ保管してください。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師とご相談ください。
- 回転しているスプールには触れないでください。けがをさせるおそれがあります。
- スプールと糸の間に指をはさまないように注意してください。指を切る恐れがあります。
- サミング操作をする場合、ヤケドや指をはさんでケガをする恐れがありますので、注意してください。
- 糸をリードするレベルウィンドの所に指を近づけて、釣りをしないでください。指をはさまれてけがをさせるおそれがあります。
- ハンドルとボディの間に手をはさむと、けがをさせるおそれがあります。
- リールを構成します各パーツは精密なセッティングにより出荷されておりますので、分解などのメンテナンスは、当社へおまかせください。

ピュア・フィッシング・ジャパン株式会社

〒135-0042 東京都江東区木場2-15-12 MAビル

TEL 03-6860-5180



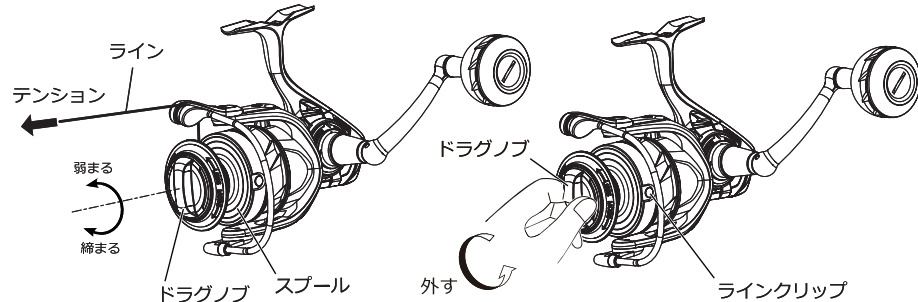
■仕様/デザインは改良などのため予告なしに変更することがあります。

●ドラグ調整

ドラグとは、ドラグの締め付けを調整することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。

●スプール脱着方法

※ドラグノブは反時計回りに回せば外れます。

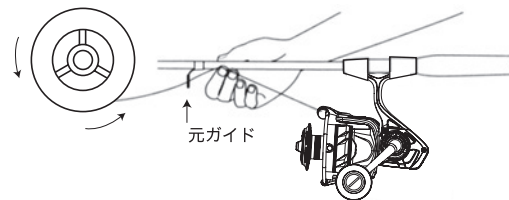


※ドラグノブは右に回すと強く締め、左に回すと弱くなります。
※リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調節してください。アンチリバースONの状態、手で糸を引き出しながら、ドラグの締め付けを調節します。通常は糸が切れる寸前にスプールが空転するよう調節します。

新品のラインをリールに巻く方法

必ず図のような方法でリールをロッドにセットし、まずベイルアームを開き、新しいラインをスプールに結びます。再度ベイルアームを閉じて、スプールにラインを巻いてください。しっかりと巻くために、ドラグはしっかりと締め適度なテンションをかけながら巻いてください。

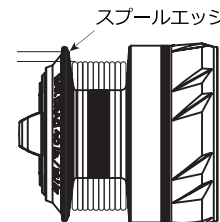
●新品のラインの場合、ポビンを図のようにタテにして、適度のテンションを与えながら巻いてください。



※図のようにロッドの元ガイドを活用するととても便利です。

ラインを巻く適正量

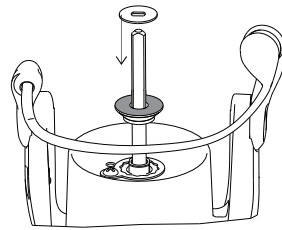
スピールのエッジより少なめに巻いて下さい。
ラインを多く巻き過ぎるとライントラブルの原因となります。



糸巻状態の調整方法

使用糸の特性により、糸巻量や糸巻形状が変化しますので、標準の糸巻状態にてご使用いただくために、付属のワッシャーで調整して下さい。

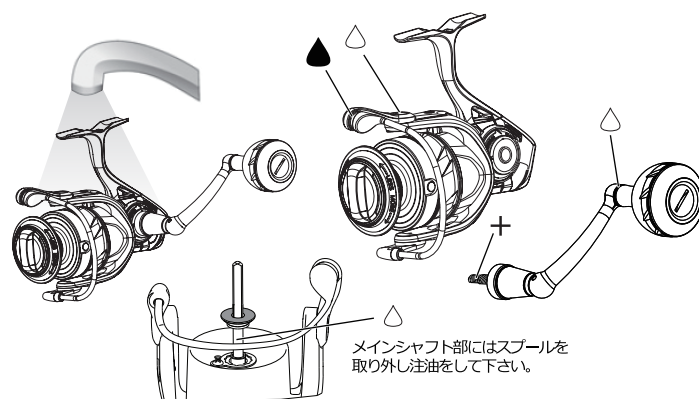
糸巻状態調整ワッシャー(白)図の白いワッシャーで調整します。



標準の糸巻状態	前巻の糸巻状態 付属のワッシャーを追加します。	後巻の糸巻状態 装着されている薄いワッシャーを抜き取るか厚めのワッシャーを付属のワッシャーと交換してください。

メンテナンス

リールの性能をいつまでも維持する為には釣行毎のメンテナンスが大切です。特にソルトウォーターで使用した際は水洗いが必要です。水洗いする前に必ずドラグノブを締めて下さい。そして、水道などの流水でリールの内部に水が入らないように注意しながらリールの表面の汚れ、塩をサッと洗い流します。その際、リールを水に漬けるような洗い方や長時間の水洗いは絶対にさけて下さい。洗った後は乾いた布で拭き、十分に乾かしてから、必ず注油して下さい。オイル、グリスの塗布する箇所は下記のイラストを参考にして下さい。注油回数が少ないのはもちろん良くありませんが、不必要な箇所への注油や必要以上に多くのグリスをつけると、回転不良などにつながりますのでご注意ください。リールの保管時はドラグを必ず緩めておいて下さい。



グリス +
オイル 〇
フッ素オイル ●

ラインローラーボールベアリングは、特殊コートを施しているため釣行毎の頻度での注油は不要です。年に一度当社へオーバーホールに出して頂くか、お客様ご自身で注油される場合は、フッ素オイルを使用してください。

メインシャフト部にはスプールを取り外し注油して下さい。